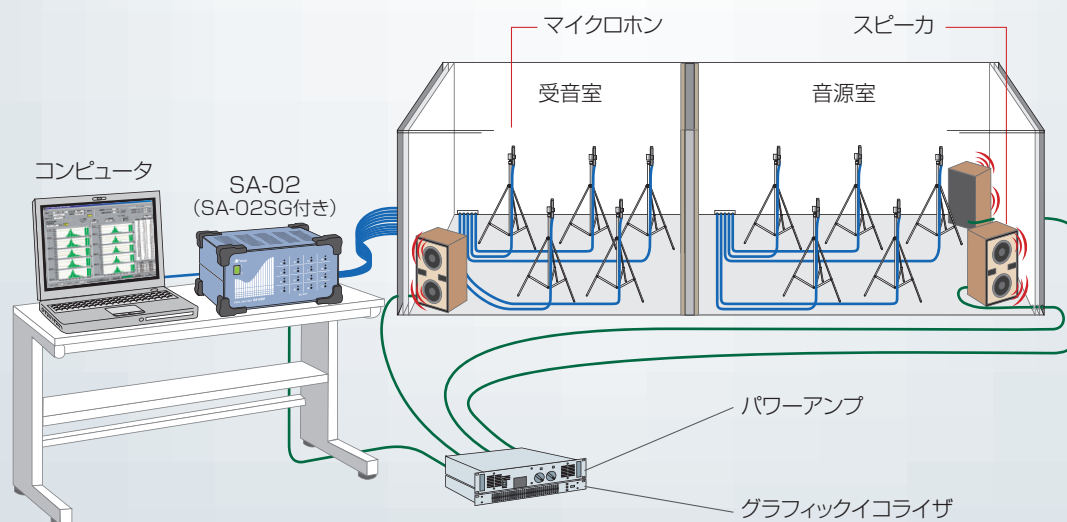


建築音響測定システム

建物の居住性能の評価に建築音響測定システムが使用されています。本システムはJIS並びに日本建築学会推奨測定規準に沿った測定方法により、音響透過損失、残響時間、室間音圧レベル差、床衝撃音(重量/軽量)、低減量、吸音率を計測することが可能です。

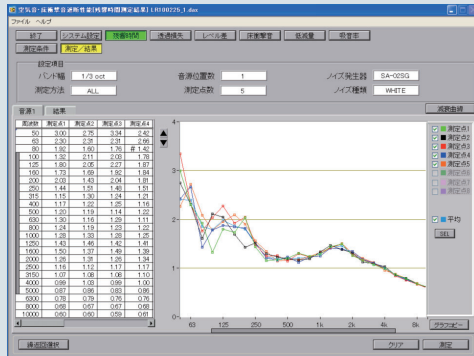
10本のマイクロホンと多チャンネル分析処理器SA-02でシステムを構成した場合、2室(音源室/受音室)の音圧レベルを同時に測定できるため測定時間を大幅に短縮できます。雑音信号はSA-02に増設した信号出力ユニットSA-02SG(オプション)より発生し、測定されたデータは多チャンネル分析処理器SA-02のコンピュータにより集計され、CSVファイルで保存されます。測定結果はExcelなどの表計算ソフトを使用して2次処理ができます。

システム図

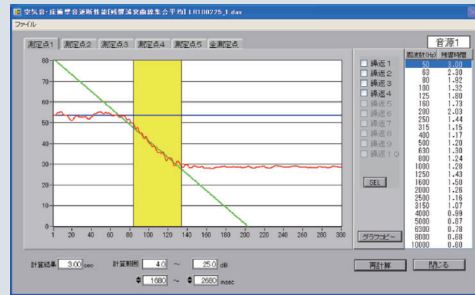


機器構成

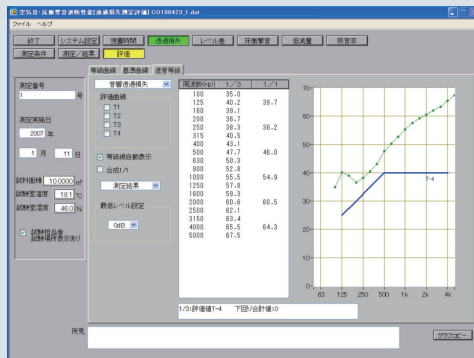
品名	型式	使用数
多チャンネル分析処理器	SA-02M (12ch)	1
SA-02用コンピュータ		1
空気音・床衝撃音遮断性能測定ソフト	AS-20PC5	1
信号出力ユニット	SA-02SG	1
パワーアンプ		1
スピーカ		1~3
グラフィックイコライザ		1
マイクロホン/プリアンプ	UC-52/57/59+NH-22A, UC-52T/57T/59T	1~10
BNC-BNC同軸ケーブル	EC-90シリーズ	1~10
マイクロホンスタンド/マイク取付治具		1~10



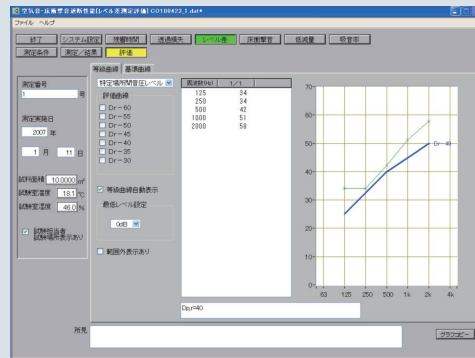
残響時間測定結果画面



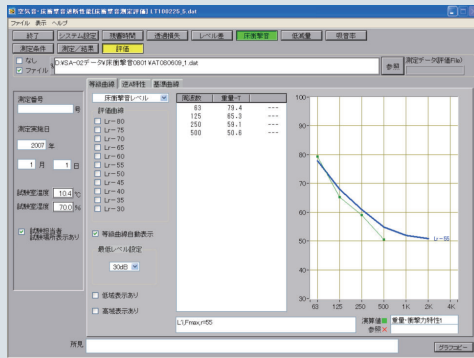
残響減衰曲線画面



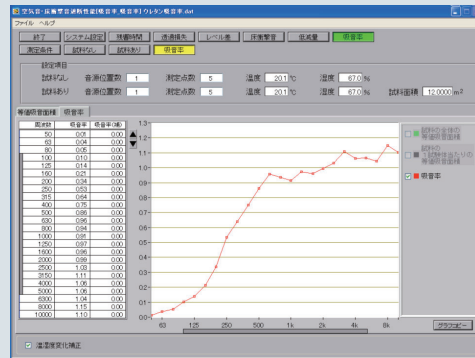
透過損失評価画面



レベル差評価画面



床衝撃音評価画面



吸音率測定結果画面

使用事例

ハウスメーカ・ゼネコンによる建築音響測定、学校による建築音響測定

適合規格・参考文書

- JIS A 1409 残響室法吸音率の測定方法
- JIS A 1417 建築物の空気音遮断性能の測定方法
- JIS A 1419 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法
- JIS A 4702 ドアセット
- JIS A 4706 サッシ
- JIS A 1416 実験室における建築部材の空気音遮断性能の測定方法
- JIS A 1418 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法
- JIS A 1440 実験室におけるコンクリート床上の床仕上げ構造の床衝撃音レベル低減量の測定方法



当社は、認定基準としてISO/IEC 17025 (JIS Q 17025)を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関 (IA Japan) は、アジア太平洋試験所認定協力機構 (APLAC) 及び国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。当社の品質・環境統括センターは、国際MRA対応JCSS認定事業者です。JCSS0197は品質・環境統括センターの認定番号です。

ISO14001 本社・東海営業所・西日本営業所 認証取得
ISO9001 本社・東海営業所・西日本営業所・九州リオン・リオンサービスセンター 認証取得



*本カタログ掲載の会社名、商品名は一般に各社の登録商標または商標です。*本カタログ掲載の各製品のデザイン・仕様などは予告なく変更する場合があります。

技術相談受付 ☎0120-26-1566 当社の休日および土・日・祝日を除く 9:00~12:00 / 13:00~17:00

- 本社・営業部 〒185-8533 東京都分科市東元町3丁目20番41号
TEL.042-359-7887 FAX.042-359-7458
- 西日本営業所 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5番5号 横浜ビル
TEL.06-6346-3671 FAX.06-6346-3673
- 東海営業所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2丁目3番23号 和波ビル
TEL.052-232-0470 FAX.052-232-0458
- 九州リオン(株) 〒812-0039 福岡市博多区冷泉町5番18号
TEL.092-281-5366 FAX.092-291-2847
- 上海理音科技 有限公司 郵編200233 中国上海市徐匯区宜山路900号 科技産業文化大樓 C区501室
TEL.021-5423-5082 FAX.021-5423-5266

- リオンサービスセンター(株) 〒192-0918 東京都八王子市市兵衛2丁目22番2号
TEL.042-632-1122 FAX.042-632-1140